

命の大切さを学ぶ教育



教育随想

岡崎市消防長 山崎 武利 氏

目の前で突然に人が倒れたら、とつさに判断して適切に対処できる人はどれほどいるでしょうか。救急車が到着するまでに、心肺蘇生法や止血など簡単な手当てをすることができれば、助かる確率は高まります。

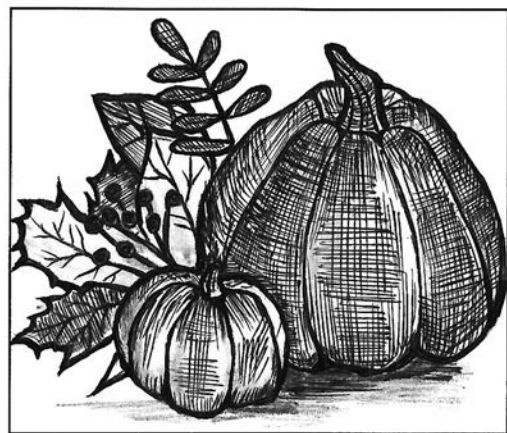
心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置（BLS：Basic Life Support）の授業を行っている学校も少なくありません。

BLSは救命に必要な器具などは必要なく、正しい知識と適切な処置のノウハウを知っていれば誰でもできるものです。消防本部では入門コースから上級救命講習まで、いろいろな形での講習を開催しています。講習修了後に受講した全員にライセンスも与えられます。これらの講習を、小学校、中学校、高校在学

中に各一回ずつ受講していただき、繰り返し行うことで、知識やノウハウが定着し、現実に事故が起こった時に行動が起こせる実践力が身につくことが期待できます。しかしながら「中学生はともかく、小学生にBLSが理解できるだろうか、あるいは心肺蘇生法を行う体力があるだろうか」という懸念もありますが、消防本部で開催している救命講習会に参加した小学生からは、「ためになった」「もつとやってみたい」など、高い評価があります。

欧米では、以前から地域社会でBLSが教育され、学校内での教育の有用性が認められるようになり、米国では学校内で心肺蘇生法を教える運動が展開されています。

「言葉だけで」命の大切さを教えるも伝わるはずはなく、児童・生徒た



ちに、実践を通じて命の大切さを学んでもらいたいものです。

講習をうけて、人の命を救うことができる自信を持たせれば、子ども達にとつて、自分たちが他人に何かを貢献できるといふ自信につながるのではないのでしょうか。

（やまごき たけとし）



令和5年10月1日

10月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想……………	1
岡崎市消防長 山崎 武利 氏	
この人に聞く……………	2
元駒立ぶどう狩り組合長	
中根 伸宏 氏	
羅 針 盤……………	2
矢作西小学校	
校長 清水 良隆	
ふれあい……………	3
六ツ美北中学校	
養護教諭 竹下麻由美	
特 集……………	4
岡崎市東公園動物園から学ぶ	
～開園40周年を迎えて～	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
瓜切り風景(大正13年)	
この本を……………	8



持続可能な日本の農業の先駆者に

元駒立ぶどう狩り組合長
中根 伸宏氏

山間地農業の収入を上げるために始まったぶどう栽培は、観光農園組合を設立してから、今年で六十三年になる。中根さんが組合長を務めた六年間の任期の最後は、コロナ禍であった。中根さんは、組合員や市内外の消費者に働きかけて協力を得ながら来場者半減の困難期に取り組んだ。

―組合のよさを教えてください―

組合の理念は「共存共栄」です。この理念の基、組合で宣伝や接客、品種改良などの農作業を協力して進めることで、様々な効果が上がります。

ぶどう農園の作業は、果実に袋をかける、ぶどうの粒を間引くなどすべてが一年に一回のみのため、失敗が許されません。また、ぶどうを作るための工程は、どれも手作業で、毎日仕事内容が異なります。しかし、組合で行うことで、七軒分の技術と経験を共有でき、栽培の失敗を

減らすことができます。技術の発展、深化が速くできるのも利点です。一つの品種の収穫期間は三週間ほどですが、各農園で収穫時期が異なる品種を栽培しているので、お客様にぶどう狩りを楽しんでもいただく期間を長くすることができました。

―組合長を務めて思うことは―

現在、日本の農業従事者の多くは七十代で、その数は減り続けています。管理者のいなくなった農地は、イノシシなどに荒らされ、危険な場所となり、耕作をあきらめるしかない現状です。農作物を作る人も場所も減る中で、日本の食糧自給率は三十八パーセントと、先進国では低位です。

今、世界の人口が八十億人を超え、食糧危機が危惧されています。荒れた農地は一年や二年では戻りません。宅地や店舗用に農地をつぶしてしまつてはなおさら食べ物を作ることはできなくなります。今はよくても子供や孫の時代に、世界の国々が日本を助けてくれるでしょうか。その時になつて農地を増やそうとしても間に合わない、そのことに今の大人が早く気付いて、日本の農業を衰退させない行動をしてほしいのです。

また、ぶどう農園は山の保水力を高めています。もしここにお客様がみえなくなつたら、雇用がなくなり、人が住まず、山の手入れをする人を失つて荒廃し、大雨のときなどに町の災害の危険が増すでしょう。お客様

がぶどう農園に来て楽しむことは、環境保全の手伝いにつながります。ぶどう狩りで自然と触れ合つて、地球環境を考えるきっかけにしてもらえたら、ありがたいことだと思います。―今後の展望を聞かせてください―
お客様に喜んでもらえるおいしいぶどうを作り続けます。さらに、観光ぶどう農園にキャンプ場やカフェを設けて、年間を通じて人々の交流ができる場所を作りたいという夢があります。ぶどう農園が町と山間地域との交流の懸け橋になれば、すばらしいことです。

駒立ぶどう狩り組合は、山間地で農業を始め、雇用を生み出し、後継者を育て、三代目まで続いています。これが全国的には珍しく、好事例として農林水産省から賞をいただきました。

私には小中学生の子供がいます。農業は自然が相手で大変な仕事ですが、仲間と協力して働く私の姿を見て、子供たちが農業をやりたいと思える経営にしたいです。やりがいや楽しさ、収益方法など、私たちの経営スタイルが、日本の持続可能な農業の先駆けとして、家業を継ぐ人や農園を始める方など、農業に携わる方の参考になればよいと思います。



氏名 なかね のぶひろ
生年月日 昭和四十六年
九月二日
住所 岡崎市駒立町



最後の砦

矢作西小学校

校長 清水 良隆

夕暮れの教室。母親と共に登校した子を、笑顔で迎える先生がいる。「会えてうれしいよ。」

柔らかな一言が、かたくなに閉じようとする心を解きほぐす。

授業中、痲癩(かたじけなく)を起こしてしまった子に、そつと声を掛ける先生がいる。

「お話を聞かせてくれるかな。」

穏やかな一言が、湧き上がるいらだちを静かに受け止める。

教室には本当に多様な子供たちがいる。心身の発達、家庭環境、成育歴等も様々である。その「様々」の中には、不安や悩みが含まれていることも多い。

しかし、だからこそ学校の意味があるのだと私は思う。たとえどのような環境にあらうとも、これからの自分の人生の道しるべを見付けることができる場所、それが学校なのだ。



ありのままの自分に自信をもって

六ツ美北中学校

養護教諭 竹下麻由美

昨年度初めの健康相談で、Aさんの母親から「病気のことを話すのは、今、知っている友達だけにしてください」とお願いされた。Aさんは、母親の後ろで視線を落とし、落ち着きなく前髪をずっと触っていた。Aさんは緊張した時に前髪を触る。毎日休み時間に教室から別室に移動し、薬を処方するAさんは、病気のことを友達に知られたときに、どのように思われてしまうのかをとても心配していた。私は、Aさんの気持ちも痛いほどわかったが、それと同時に、病気を受け入れて前向きに生活できるようになってほしいと願っていた。

体育大会の練習が続いたある日、Aさんは、不調を訴えて、病気のことを知っているBさんと保健室に来

た。Bさんは、Aさんが不調を訴えるとすぐに保健室まで連れてきてくれる、よき理解者だった。私は、Aさんの脈をとりながら、

「Bさんがいてくれて、よかったね」と声をかけた。互いに照れ笑いを浮かべ、Bさんは教室に戻った。Aさんに、「この人にならと思える人に、打ち明けていくといいよ」と言葉かけた。Aさんは、前髪を触りながらも、何か考えた様子でうなずいた。

スキー学習を一か月後に控えた頃に保健室で、「しおりを読んで合宿はどう過ごすかを考えておいで。やってほしいことがあれば助けるよ」と声をかけた。すると、Aさんは健康相談で薬を処方する場所やタイミングなど、自ら考えたことを提案し始めた。これまでの受け身の態度とは違い、私は驚いた。保護者も驚いていたようだった。病気と向き合い、みんなと一緒に楽しみたいという強い思いを感じた。そんなAさんの姿を見て、私は「同じ部屋の子にだけでも病気のこと伝えてみてはどう。困ったときに助けてくれるよ」と提案してみた。ところが、すぐに答えは返ってこなかった。私は、焦りながら返事を待った。母親も「知っておいてもらったほうが安心じゃない

い」と声をかけた。Aさんは、前髪を触りながら小さくだが何回かうなずいてみせた。

やがて決心したように私の目を見て、「部屋に入ったときに友達に話してみる」と言った。私は、Aさんの小さくも力強い声に内心驚いた。驚きを悟られないように「それがいいね。Aさんなら大丈夫」と声をかけた。Aさんは、私が思うよりもずっとずっと強く病気と向き合い、前に進むうとしていた。

三年生になり、修学旅行前の健康相談で、「病気があるけれど、一緒に行動したいと友達に思ってもらいたい」と手を足の上に置いて話した。Aさんは、ありのままの自分を受け入れてもらいたいと願っていた。修学旅行中、Aさんの笑顔は仲間の輪の中で輝いていた。



そして、その最前線に立っているのが、担任をはじめとした、私たち教師なのである。

目の前の一人の子供に掛けた励ましの言葉やねぎらいの言葉が、一つ一つ積み重なって、その子の明日への希望となり、将来生きるための糧となる。逆に、思慮なく発した一言は、伸びゆくはずの芽を摘み取ってしまう可能性もある。教師の声掛けは、一人も取り残さない個別最適の学びに、深くつながっていると思う。

七月初旬、教室を回った。そこには七夕飾りに託された、たくさんの願い事。「漢字のテストで百点が取れますように」「サッカーのプロ選手になれますように」。昔も今も、子供たちは明日の目標や将来の夢を、純粹にもっている。それがまだ明確にもっていない子も含め、よりよく生きたいという願いは、すべての子供がもっている。それは、境遇に妨げられるものではない。

私たち公教育に携わる者は、子供たち、とりわけ厳しい環境にある子供たちにとって、「未来を切り拓く最後の砦は学校なのだ」という認識と自負をもちたい。そして、糧となるたくさんの言葉を、子供たちに掛けていきたいものだと考えている。

岡崎市東公園動物園から学ぶ

～開園40周年を迎えて～



▲東公園動物園にて動物と触れ合う家族

岡崎市には、アジアゾウの「ふじ子」がいる、東公園動物園がある。入園料がかからない動物園は、休日になると市内だけでなく、遠方からも多くの家族が訪れ、子供たちの声で賑わっている。「ふじ子」も今年で五十五歳となり、堂々とした振る舞いを来園者に見せ、みんなから愛されている。

市民にとって憩いの場である東公園動物園は、昭和五十八年に整備され、今年で四十周年を迎えた。開園当初から、市民が身近に感じる園を目指して、少しずつ工夫が重ねられてきた。園内の動物が見えやすくなるような展示場の設計や、動物との触れ合いイベントの充実など、アイデアがあふれている。

岡崎市の小中学校でも、これまで様々な場面で活用してきた。中学校では、キャリア教育の一環として職業体験をさせていた。多くの学校が、動物を飼育する方法を学ぶだけでなく、動物の命を大切にすることも学ぶことができる。小学校では、遠足で動物と触れ合ったり、以前にはモルモット出前授業として動物と直接触れ合う活動を行ったりした学校もあった。

動物園を運営する市町村は、全国でも数少ない。東公園動物園と学校との連携をさらに深めていくことを通して、命の大切さの学習や環境教育、SDGsの取組など、岡崎の子供たちの心を豊かなものにしていきたい。



▲根石小学校の児童が参加した動物舎の落成式
(昭和58年)

動物2係 主査 伊藤寛将さんのお話

動物の鳴き声や匂い、抱いた感触から、「生きていける」ことを実感することができるなど、動物から命について学ぶことは数多くあります。また、動物と関わることで子供たちは、動物が生きるための自然環境の保全（SDGs）への視点を持ち、関心を高めることができるでしょう。

今年、園ではシカとミリアキヤットに子供が生まれました。命の誕生、成長を肌で感じることで、この東公園動物園に、ぜひ来園ください。

東公園動物園を活用した小中学校の実践

小学校『校外学習・小学校の実践』



▲校外学習（井田小学校）



▲モルモット出前授業（矢作東小学校）

中学校『職業講話・キャリア教育』



▲キャリア教育講習会（新香山中学校）



▲職場体験（矢作北中学校）

東公園動物園が行っているイベント活動

なかよし教室



▲動物との触れ合い体験

環境学習



▲環境ラベルについての講座

紙すき体験



▲ふじ子のフンを使った紙すき体験



令和五年度研究発表会

研究発表会

◆岡崎市立矢作北小学校

十月十八日(水)

「生きて働く言語能力を育む
国語教育の創造」

「創造・感受・交流」の力を
高める国語科授業を通して」

矢作北小学校では、学習指導要領にも明確に定義されていない「言語能力」を、【矢北小で求める言語能力】と定義し、三つの力（創造・感受・交流）を高める国語科授業の在り方を研究してきた。そして、どんな言語活動を設定するかを位置付けた【矢北小五角形モデル】授業を展開し、その中で、三つの力を高める手だてを講じてきた。さらに、「ジャンプアップ課題」と呼ぶ、第二の課題を提示するこ

とで、子供が自分の思いや考えを言葉で表現したくなる実践に取り組んできた。

当日は、研究発表、全学級の授業公開、授業を語る会を行う。

◆岡崎市立北中学校

十月二十五日(水)

「自立的に生きるための資質・能力を育む教育の創造」

「学び方と学ぶ内容を充実させたチーム学習を通して」

北中学校では、全ての教科・領域の授業を同じ四人組のチームで学び、教師が適切に支援することで、自立的に生きるための資質と能力を育むことを目標に研究を進めてきた。また、生徒が自身の成長を実感し、次の学びにつなげるきっかけをつくることのできるよう、毎時間の振り返りに重点を置いて実践に取り組んできた。

当日は、研究発表、全教科の授業公開、授業を語る会を行う。

※市委嘱 (R3~5)

◆岡崎市立六ツ美北部小学校

十一月一日(水)

「自立的に生きようとする六

北っ子の育成

「よつば学習」を通して」

六ツ美北部小学校では、個が自立的に生きるための資質能力を身に付けることを目標に、他者と支え合いながら、主体的に学び続けられる授業の在り方を研究してきた。本校で「よつば学習」と呼ぶ、四人で学び合うチームを意図的に構成し、「見通しタイム」「よつばタイム」「ふりかえりタイム」の三つの場面を効果的に設定した授業展開の中で、教師がファシリテーターとして適切な支援を行う学習形態を取り入れ、日々実践を重ねている。

当日は、研究発表、全学級の授業公開、授業を語る会を行う。

※市委嘱 (R3~5)



表彰

◆令和5年度全国中学校体育大会

大会

○第63回水泳競技大会 (香川県)

・男子100m背泳ぎ

出場 甲山中 加藤 絆

○第50回陸上競技選手権大会 (愛媛県)

・男子110mH

6位 翔南中 権田 颯志

出場 矢作中 許田 響

・女子四種競技

7位 矢作北中 夏目 純佳

○第53回全国中学校剣道大会 (愛媛県)

出場 矢作中 中島 慎

◆第45回東海中学校総合体育大会

○バレーボール (岐阜県)

出場 矢作中 矢作中

○剣道 (岐阜県)

団体の部出場 矢作中

○水泳競技 (三重県)

・男子4×100mメドレリレー 8位 矢作北中

川原井 翔・岡田 爽良

石川 煌起・葛西 麒心

出場 甲山中

加藤 絆・鈴木 咲哉

水野 直旺・荻野 暖万

出場 矢作中

吉岡 虎徹・吉見 信二

柳楽浩太郎・家永 瑛吉

・男子200mバタフライ 3位 六ツ美北中 服部 羽恭

・男子100mバタフライ 7位 竜南中 船越 健

・男子100m背泳ぎ 4位 甲山中 加藤 絆

・男子400m自由形 5位 矢作中 柳楽浩太郎

○陸上競技 (三重県)

・2年男子100m 5位 東海中 小島 昊大

・男子110mH 1位 翔南中 権田 颯志

・男子3000m 4位 矢作北中 稲垣 諒也

・女子100mH 出場 甲山中 黒柳 紗依

・女子走高跳 2位 矢作北中 夏目 純佳

・女子1500m 7位 新香山中 本田 結彩

○卓球 (静岡県)

・個人戦 出場 甲山中 吉田 詠

◆第24回松涛連盟全国空手道選手権大会

○男子組手 3位 竜谷小 小林 蒼空

◆JOCジュニアオリンピックク

第37回都道府県対抗中学バレーボール大会愛知県代表選手最終選考大会

優秀選手賞 矢作中 鈴木 心翔

久田 琉登

- ◆第78回東海吹奏楽コンクール
 - 中学校B編成の部
 - 東海中 山本 杏樹
 - 伊藤 璃緒
 - 美川中 青山 琴音
 - 鈴木 空桜
 - 柴田歩乃佳
 - 細井 愛里
 - 中学校A編成の部
 - 翔南中
 - 北中
- ◆2023年度愛知県吹奏楽コンクール
 - 中学校A編成の部
 - 翔南中
 - 北中
 - 中学校B編成の部
 - 矢作中
- ◆2023年度中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会
 - 中学校小編成の部
 - 矢作中
 - 翔南中
 - 美川中
- ◆2023年度愛知県小学生バンドフェスティバル
 - 金賞 (東海大会出場)
 - 愛知県教育委員会賞
 - 朝日新聞社賞
 - 銀賞
 - 竜美丘小
- ◆第63回愛知県合唱コンクール
 - 中学校部門(同声合唱の部)
 - 金賞 (中部大会出場)
 - 六ツ美北中
- ◆第90回NHK全国学校音楽コンクール愛知県コンクール
 - 小学校の部
 - 金賞 (東海北陸大会出場)
 - 六名小
 - 梅園小
 - 銅賞
 - 中学校の部
- ◆令和5年度少年の主張愛知県大会
 - 奨励賞
 - 翔南中 大野 舞子
- ◆第53回愛知県野生生物保護実績発表大会「輝く未来のいきものサポーター」
 - 愛知県知事賞
 - 生平小
 - 愛知県教育委員会賞
 - 河合中
 - 愛知県自然観察指導員連絡協議会賞
 - 美合小
 - 公益社団法人愛知県獣医師会賞
 - 東海中
- ◆第49回らくのうこどもギャラリー
 - 入選
 - 豊富小
 - 平川
 - 亜門



令和5年度小学校水泳大会 大会結果

【北ブロック】会場：市内小学校プール

	優勝	第2位	第3位
男子	広幡	六名	細川
女子	梅園	大樹寺	矢作東

【南ブロック】会場：市内小学校プール

	優勝	第2位	第3位
男子	小豆坂	矢作南	福岡
女子	岡崎	根石	六ツ美西部

個人成績 (1位のみ)

新...大会新記録

種目	男子			女子		
	氏名	学校	記録	氏名	学校	記録
5年50m自	菅原陵大朗	広幡	32"7	河口こはる	広幡	35"7
6年50m自	石井 滉士	大門	37"1	宮沢 奏花	岩津	36"7
6年100m自	小原春太郎	恵田	1'25"7	岡田茅穂乃	矢作北	1'17"9
6年100m平	加賀谷太一	広幡	1'27"8	大竹 明梨	大樹寺	1'32"4
6年50m背	杉山 凱星	六名	35"2	神谷 愛陽	梅園	40"5
6年25mバタ	大平 琉陽	広幡	新15"1	西村 水那	大樹寺	19"2
6年50m平	鈴木 湊斗	大樹寺	40"3	岡田 成未	六名	50"3
200mリレー	山田・菅原 加賀谷・大平	広幡	新2'14"0	三宅・佐藤 毛利・神谷	梅園	2'36"9

個人成績 (1位のみ)

新...大会新記録

種目	男子			女子		
	氏名	学校	記録	氏名	学校	記録
5年50m自	吉岡 鷹助	矢作南	35"1	上田 夏帆	岡崎	34"6
6年50m自	原田 深生	矢作南	35"3	川口 真歩	六ツ美西部	38"0
6年100m自	林 昌希	福岡	新1'06"0	森 愛寧	六ツ美北部	1'09"1
6年100m平	塙 侑剣	小豆坂	1'22"1	坂田 夏穂	竜美丘	1'28"3
6年50m背	岸 悠人	羽根	44"4	寺井 鈴	岡崎	35"6
6年25mバタ	杉山 陽飛	小豆坂	17"4	鈴木 彩心	根石	16"4
6年50m平	鈴木 湊登	山中	39"9	石田蘭夏星	六ツ美中部	44"9
200mリレー	塙・杉山 江崎・兒玉	小豆坂	2'18"5	小早川・田澤 黒田・鈴木	根石	新2'19"5

教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいちこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

・カ
ツ
ト

竜
海
中
太
田
真
喜

爪切り風景 (大正13年)

写真提供：梅園小学校



高学年の児童が、低学年の児童の爪を切ってあげている。これは、赤十字少年団の保健指導に関する活動の一つである。

戦後、国内では急速に資本主義が進み、教育においても、自治会活動や自学奨励、学芸会の自由演技、運動競技会などが始まった。これらの新しい教育活動は、梅園小学校でも取り入れられ、学校自治会活動など、いくつかの分野で、先進的な取組がなされていた。今日、社会はさらにスピードを上げて変化している。私たちは今までの教育のよさを生かしつつ、新しい教育活動の研究に取り組み、社会で活躍できる児童の育成を進めていく。



*通常の学級で行う「愛着障害」サポート 米澤 好史
明治図書 ￥1,860

心に残った一文

愛着障害を神経発達障害と誤認し、支援した側もされた側も困っている。

「発達障害の支援でうまくいかないのは愛着の問題が付随している。多動という子どもの特徴一つとっても、すべてをADHDと捉えて対応すると、子どもの困り感がさらに大きくなり注意が必要である」と著者は指摘する。

「発達障害の可能性があり特別な支援が必要な小中学生の割合」は、通常の学級に8.8%、小学生だけを見ると11%と言われている。1学級に3～4人在籍することになる。ADHDやASD等の発達障害に対する教員の理解は、年々深まりつつある。そこに、AD(愛着障害)の視点を加えることで、さらに個に応じた適切な支援ができると確信した。

*超 AI 時代の頭の強さ 齋藤 孝
KK ベストセラーズ ￥1,700

*発達障害のある子どもに寄り添う大切な「ミカタ」 鈴木 徹
東洋館出版 ￥1,500

*ギフテッドの光と影 阿部 朋美・伊藤 和行
朝日新聞出版 ￥1,400

六名小 太田 幹也

報道を見た地元企業や施設、多くの方がぶどう農園の窮状を救うべく行動を起こした。おかげで、来場者が半減したコロナ禍の二年目、ぶどうを一房も捨てずに済んだと中根さんは語る。

伝えることへの不安と葛藤。「ありのままの自分を受け入れてほしい」と願うAさん。自分の病気が向き合い、思いを打ち明けようと前進することができたのは、生徒の気持ちを大切に、信じて寄り添う養護教諭の支援があったからであろう。誰もが、ありのままの自分を大切に、笑顔で歩んでいけるようにと願う。

動物に温かく声をかける東公園動物園の飼育員。夕方、仕事を終えた控室で、動物について仲間と談笑されるそうだ。動物の日々の表情や体調などの共有を大切にされている。命の価値、優さを学ぶことは、とても大切である。動物の命との関わり方、成長に寄り添う姿からは、小中学生だけでなく、私たちも学ぶ点が多い。

と ホ ツ

神無月



▲西三河中学校駅伝競走選手権